

授業科目名	保健医療福祉行政論			担当教員	守山 正樹	
開講年次	3年前期	セメスター	5	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	選択	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	保健医療福祉に関する法制度や関係法規の基礎知識を学ぶとともに、保健医療福祉に関する行政施策の基本となる考え方を学ぶ。					
到達目標	1) 我が国の保健医療福祉行政の理念と仕組みについて説明できる。 2) 保健医療福祉行政における地方公共団体の役割が理解できる。 3) 保健医療福祉機関の役割と機能が理解できる。 4) 保健医療福祉行政における政策化のプロセスを説明できる。					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	保健医療福祉行政・公衆衛生の出発点：プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの考え方	講義	テキスト序章の予習と復習	1時間	守山	
2	社会変革の流れと公衆衛生活動、政策・施策の考え方	講義	テキスト1章の予習と復習	1時間	守山	
3	行政における保健師の役割と活動の考え方	講義	テキスト2章A・B及び4章の予習と復習	1時間	守山	
4	社会保障制度の考え方	講義	テキスト3章Aの予習と復習	1時間	守山	
5	医療体制の考え方	講義	テキスト3章Bの予習と復習	1時間	守山	
6	高齢化と介護保険の考え方	講義	テキスト3章Cの予習と復習	1時間	守山	
7	困っている人々を助ける社会保障・社会福祉の考え方	講義	テキスト3章Dの予習と復習	1時間	守山	
8	保健計画と地域づくりの考え方、これまでのまとめとフィードバック	講義	テキスト5章の予習と復習	1時間	守山	

先行履修科目	2年後期までに履修すべき全ての科目				
テキスト	藤内修二他著：標準保健師講座・別巻1 保健医療福祉行政論 第4版，医学書院，2017.				
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健医療福祉行政論マイクロレクチャー <a href="http://ph-nursing.blogspot.jp/">http://ph-nursing.blogspot.jp/</a></li> <li>・厚生労働統計協会編：厚生指標 増刊，国民衛生の動向 2017/2018，厚生労働統計協会出版，2017.（すでに+旧版を購入していれば、それでも可。）</li> </ul>				
メッセージ	保健・医療・福祉・行政という複雑で広く深い領域で、地域や人々の役に立つ活動を行うためには、知識を学ぶだけでなく、考え、交流することが大切です。				
科目の位置づけ	この科目は〈リベラルアーツ・専門基礎科目〉であり、「人間」「環境」「健康」「国際」の4つの主要概念の「環境」に位置付けられている。保健医療福祉に関する行政施策の基本を理解するための科目である。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
	○			◎	
評価方法	提出物（15%）・授業への参加（35%）・個人レポート（50%）を総合して評価する。				